

地の声、生き物の声を聞く自然保護

—世界自然遺産「屋久島」から見た「練馬」の自然—

参加者募集!

講演：30 数年に及び屋久島での研究をもとに、貴重な映像を駆使しながら、世界自然遺産がどう守られているかを学習します。

練馬の保護樹木に囲まれた武蔵学園は、タマバチの新種や珍しい菌類が見られるだけでなく、大気汚染の防壁にもなっています。こうした、大都市の貴重な自然をどう守ってゆくか、具体的な保護手法を学習します。

実習：ヒノキの年輪からCO₂吸収量を知る
(室内) * 30cmのものさしをご持参ください



京都大学・河合雅雄教授の指導で博士号取得。武蔵大学では生態学、人類学、霊長類学、保全生物学などを担当。フィールドワークは東南アジアからアフリカまで広く国内外に及び

日時：12月12日(土)14:00~16:00

場所：武蔵大学8号館 8603 教室

講師：丸橋 珠樹・武蔵大学人文学部教授

定員：80人 (多数の場合は抽選・1歳以上保育あり)

申込：練馬区環境政策課環境計画係

〒176-8501 練馬区豊玉北 6-12-1

ファックス=03-5984-1227

電子メール=k-seisaku@city.nerima.tokyo.jp

電話=03-5984-4702

①講演会名「エコ・カレッジ」

②住所 ③氏名 (ふりがな)

④電話番号

保育(1歳以上)を希望される方は、

⑤お子さんのお名前(ふりがな)、年齢をご記入の上、はがき、ファックス、電子メール等で12月2日(水)(必着)までにお申込みください。

講演会場：
武蔵大学周辺地図



主催：練馬区民環境行動連絡会、共催：練馬区環境政策課、協力：武蔵大学